学校教育目標

み 自ら 学び

な仲間と光り み 未来に鍛える

平成28年度 みなみ風 第 1 1 号 平成29年3月 1日発行



三郷市立南中学校だより

三郷市立南中学校

生徒数 1年 164名 2年 174名 3年 159名

電話 955-0550 FAX 956-5804

3月は「別れ」の月、そして「感謝」の月

校長 高橋 宏至

早いもので、平成28年度もあと1ヶ月となりました。 日本の学校では、3月は「特別な月」となります。それは、学校の先生方や生徒、そして、学

校に関係するすべての人たちとの別れ」があるからです。 1・2年生はクラス替えがあり、1年間いっしょに勉 強した友だちと別のクラスになるかもしれません。

3年生は、初めて自分で決めた進路に進みます。今ま で当たり前のように毎日顔を合わせていた先生やクラス メートと別々の道に進みます。

「出会いは、別れのはじめなり」と言うように、私た ちは「出会いと別れ」を繰り返しながら成長していくこ とになります。私たちは、別れが近づくと悲しくなりま すが、同時に仲間やクラス、そして3年間通った母校に 『感謝の心』を持つことができます。学校、クラスで勉 強や部活動など一緒だったすべての友だちに感謝です。

1年間お世話になった先生方に感謝の心を持つことは とても大切なことです。 そして何より、今まで立派に育ててくれた家族に感謝

するのが3月です。 「ありがとう」と<u>ても美しい響きの日本語です。</u>

【埼玉県優良生徒表彰】

3-3 坂入俊成さん

【埼玉県産業教育優良生徒表彰】 3 - 4 森田しおりさん

【埼玉県体育優良生徒表彰】 上原昇悟さん 3 - 4 江川光花さん

黒沼美咲さん、竹内百結さん

【第21回青少年善行賞】

鈴木理彩さん

1 - 3

橋本実樹さん 2 - 4 飯塚涼雅さん 石井 應さん 3 - 1 宇田萌々さん 佐藤幹太さん 中村琴美さん 藤嵜大輝さん 和田優作さん 米山啓太さん

鈴木百萌さん

伊藤菜々子さん

【全国学力・学習状況調査】平均点 H27 H27全国 H28 H28全国 H28の差 |国語A | 67.2 | 75.4 | 75.4 | 75.6 | -0.2 国語 B 56.9 65.8 65.8 66.5 -0.7 数学A | 52.3 | 64.4 | 56.6 | 62.2 | -5.6 数学B | 30.8 | 41.6 | 42.7 | 44.1 | -1.4 | 【授業の心得に係る調査】達成家

	≌_
1年 2年 3年	E
授業に必要なものを準備します 99.4 98.7 98.0)
ゴミのない環境にします 94.2 98.7 97.4	Ļ
始まりのあいさつをしっかりします 96.1 98.7 98.7	7
発言のときは、まっすぐ手をあげます 89.0 96.8 96.7	7
「はい」と返事して起立します 89.6 97.5 96.0)
発言は目と耳で聞きます90.997.597.4	ļ.
ほおづえ、居眠り、横すわりはしません 84.4 85.4 92.1	
終わりのあいさつをしっかりします 97.4 98.1 98.7	7

課題をしっかりと捉え、解決をして いきます。

【全国中学生人権作文コンテスト】 3 - 1 森 健人さん

【平成28年度健康コンクール】 努力賞 3-4 栗原美希さん

【集まれ三郷の子 南中代表】 2 - 2 畑中美玲 2 - 3 木村 碧 2 - 5 杉山翔真 2 - 5 林 果凜 杉山翔真

【埼玉県小中学校児童生徒美術展】 2 - 2 中村綺音さん 木熊あいさん 3 - 1

【明るい選挙啓発習字 出品者】

有賀汐理さん 村田 _ 涼さん、勝木明日菜さん 2 - 1 1 - 1

青木優衣さん、江川 涼さん 2 - 2 1 - 2 畑中美玲さん、逸見 藍さん

岡野 杏さん、菅井杏華さん 2 - 5 林 果凜さん

青木菜々美さん、須田 遥さん 3 - 3

高橋映有さん

江川光花さん、熊谷玲奈さん

菊原麗華さん、廣瀬愛栞さん 菅井恵里香さん、吉川若葉さん 幡谷太一さん 永田隆磨さん、三浦来美さん





3月の予定

	の予定					1	水	2	木	3	金	4	土
4 4	↓月10日(↓月12日(↓月13日(↓月17日(水) 糸 木) 垟	∖学式・始 合食開始 奇玉県学力 È学年保ま]学習状》	兄調査	千葉	県立高校 学力検査	学》	埼玉県 力検査	面接	<u>校</u> ₹∙適性検査 東京班別		
5	日	6	月	7	火	8	水	9	木	1 0	金	1 1	土
				千葉県	立高校 発表日			3年	生を 送る会	埼玉	県立高校 発表日		
1 2	日	13	月	1 4	火	1 5	水	1 6	木	17	金	1 8	±
			式予行 合食終了				回卒業証 与式	専門・ 中:	央委員会	1•	2 年 保護者会		
19	日	20	月	21	火	22	水	23	木	24	金	2 5	±
		春分	分の日	生徒集 給食終						平成	28年度 修了式		
26	日	27	月	2 8	火	29	水	30	木	31	金		
		学年末	k休業日−							→			
												WANT	W

お知らせ

1・2年保護者会

日時 3月17日(金) 13:50~ 公開授業 14:50~ 学年保護者会

第71回入学式及び始業式 日時 4月10日(月) 9:00~ 新入生入場 9:05~ 開式

【全国エアロビック選手権大会】 ジュニア・ユースチーム部門

大和田優菜さん 1 - 3 2 - 4 渡邉瑠々花さん 3 - 3 渡邉菜々花さん



日本一の読書のまち三郷

おすすめの本コーナー

「中学生に送りたい 心の詩40」 水野喜久雄(編著) PHP 研究所

詩はよくわからないと思う人が多いと思いますが、実は毎 日のように耳にしています。それは、歌です。大好きなアー



学生に贈り

0

40 点

ティストの歌を聴いて励まされたりして いませんか?この本の中にも「歌があっ て良かったな」の中に皆さんも知ってい る嵐の「サクラ咲け」が載っています。ま た、さくらももこさんやビートたけしさ んの詩も載っています。難しい言葉では なく、ストレートな気持ちそのものが書 かれているので、心に

響いてくると思いま す。3学期の最後にぐ っとくる詩に出会える といいですね。



			平成28年度 学校評価報告書			三郷市立南中学校			
評価項	評価項	No.	質問項目	学校自己評価	学校関係者 評価結果	学校自己評価についての 評価の説明及び学校の考え			
組織運営等	教育	1	学校は、児童・生徒及び家庭・地域の実情を踏まえ、適切な目標を設定し組織的に取り組んでいる。	3.40	3.60	前年比4008 学校教育目標「み(自ら学び)・な(仲間と光り)・み(未来に鍛える)」及び今年度の学校経営の6つの柱①「確かな学力」の定義② 社会に貢献する態度」の育成③「正しい規範意識」の向上④「健康でたくましい心と体」の育成⑤「活力溢れる教職員組織」の構築⑥「行動連携 双方互恵」関係の構築の6項目については、本校の生徒及び家庭・地域の実情を踏まえたものであり、適切な目標・課題を設定し組織的に取 組んでいる。 ・特に生徒、家庭の実情に踏まえて取り組めている。 ・教育目標にむけて、各教科などで工夫して取り組んでいる。			
	目標	2	学校は、PDCAサイクル(計画・実行・評価・改善) のもと、学年・学級や教科・分掌等の経営にあたっ ている。	3.24	3.40	前年比-008 職員会議・四部会(学習指導部、生徒指導部、生徒活動制、健康・安全部)・学年会・教科会等において、さらに具体的な目も 股定し、PDCAサイクルのもと、経営にあたることができていると考えている。 学校・学年レベルの会議で、教育実践を見直し、工夫改善に努めている。 計画的に分学会が設定されており、評価、改善を考える時間が確保されている。			
	特色ある		学校は、特色ある学校づくりの観点から教育内容 の重点化を図っている。	3.40	3.80	前年比±000 真剣な授業・さわやかな挟捗・壁(歌声・美しい学校を柱に、具体的な項目を増やし、より多くの生徒が個性を発揮し、良さを伸し、取組の観点から教育内容の重点化を図ることができている。 トラリカードの取り組みを中心に生徒が主体的な動きを見せ始めている。 前年比±000 ボランティア活動に全教員で取り組んでいると思います。学年会、教科会、4部会が充実しているので話が通りやすい体制がで			
	りが学校	4	学校は、特色ある学校づくりのテーマのもと、教職 員の共通理解を図り組織的に取り組んでいる。	3.32	3.40	きている。ただし、横の連絡はとれているが、縦の連絡がとりづらいところがあるのが現在の課題である。 個人の力量に任されているように感じているためCとした。情報等の共有化を今後さらに進めた方がよいと考えます。			
	資質向上	5	学校は、教職員の服務規律を確保するための取 組をしている。	3.56	3.80	前年比+0.24 職員会議後に倫理確立委員会研修会の実施し、信頼維持・事故防止のため、教職員事故防止強化月間・週間の設定、朝の打合わせや啓発・指導等をとおして、服務規律を徹底している。風通しのよい職場を目指し、職員室内の会話を増やし、活気ある雰囲気づくりをしめている。立場や仲間のことが考えられる職員集団づくりを心がけ、学校事故ゼロを目指す。			
		6	学校は、教職員の指導力向上に向け、計画的・組 織的に研修に取り組んでいる。	3.32	3.20	前年比4004 臨任研や教科における研修など定期的に取り組むことができている。また、教職員の主体的な資質向上に向けての啓発的な研 修機会が設けている。 研修の多くが実発的に実施されていることが多いと感じてる職員もいることから横の連携をもっと徹底させるべきであった。今年度は管理職主 催の小集団の研修会適宜が開催されている。(若手向けなど)			
	学力向上	7	学校は、学力向上を目指し、児童生徒の実態に基づき授業改善に取り組んでいる。	3.40	3.60	前年比4020 教職員は学力向上を目指し、生徒の実態に基づき授業改善・工夫に努めている。全国学力学習状況調査の結果を集計・分析に 生徒の実態を把握し襲越を明確にして、校内研修・教科会で指導方法の検討をしている。研修部会を中心に研修テーマを決定し、各教科部・ でも具体的な学力向上のための授業改善に跳業に取り組んでいる。 朝の誘塞や帰りの会の南中々人など授業の進度に応じて取り組むことができていると思います。時間があればその日の南中タイムの解説な ど放課後にできるとより深まると思われます。			
		8	学校は、日々の授業等を通して、児童生徒に基礎的・基本的な学力を身につけさせている。	3.44	3.00	前年比・0.20 生徒の実態にあわせて授業改善を重ね、学力向上に努めている。基礎的・基本的の定着が大きな課題となっており家庭学習の 習慣が定着していない、キプリートを作成し、様々な取組を組織的に行ってきてか、成果外数値して表示していない。令後、保護者を巻き込 み取組を継続して行っていく、長期休業中の補留や、部活動のない日の放課後に補留を行うなどをしているが自主的な参加が少ない。授業だけでは基礎・基本的な学力を身につけさせることが難しく家庭学習を取り組むように促すがテスト前だけになってしまい定着していない。			
Luni	授業	9	学校は、教職員の共通理解を図り、「授業の心得」 に基づき指導にあたっている。	3.36	3.40	前年比-0.04 学校全体で授業の心得に基づき、指導を行い、各学期の生徒の自己評価や教職員の自己評価も適切に実施されている。 生徒の主体的な活動を積極的に取り入れ、更なる向上を進める。 1人1人の共通理解に大きな差があり、若干流れてしまっている。			
授業等の	業規律	10	学校は、児童生徒が落ち着いた雰囲気の中で学習できるように、授業を展開している。	3.36	3.80	前年比・0.16 学年学級委員会の「授業態度点検」や教師主導の「授業規律コンクール」等で、組織的に授業規律作りに努めている。 授業規律の徹底を意識し、そのように授業が展開されている。 チャイムで始まり、チャイムで終わることも大切だと考えている。			
状況	観書の	11	学校は、図書館経営を充実させ、読書活動を推進 している。	3.60	3.60	前年比-0.08 図書教諭、学校司書、クラス担任が連携して図書館の活用に努めている。 本がとても完実しており、先生方の協力もあり、毎日開館できている。 図書教諭、学校司書、が意欲的に図書館運営を行っている 様々な取り組みを工夫して、読書活動を推進している。			
	まち	12	2 学校は、児童生徒が主体的に読書活動に取り組 めるよう指導している。		3.00	前年比+0.08 各学年での読書活動の取り組みが少ないので今後は時間を増やしたい。朝読書を利用して取り組みをしているがしっかりと読でいる生徒と読んでいない生徒で差が大きいのが現状であるが、学級での朝読書、また、読書好きの生徒たちによる読書案内、また担任の書案内などにより、読書の楽しみや意義について理解を深めさせている。			
	健康・	13	学校は、規則正しい食事の大切さを理解させ、食 に関する意識を高めようとしている。	3.20	3.00	前年上午0.16 プリントなどを活用して食事の大切さを伝えようとしていて意識は高まっているように感じます。もし可能であれば学期に1回や3 1回食事に対する講演や話などあると生徒もさらに意識するのではないかと思います。 食育に関する客発は、日常的な給食指導の場面での話しや働きかけが重要であるが、食の改善に十分な効果がみられない現状である。 生活習慣と成績との関連をもとに、授業規律の取り組みと連携させたい。			
	体力	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、授業や部活動・ 外遊びに意欲的に取り組めるよう指導している。	3.52	3.80	前年比+0.24 時間がないなかで限られた時間を有効に使うことができ、また生徒においては積極的に取り組むことができています。 - 学校全体として意欲的に生徒は取り組んでいる。 どの部活動も熱心におこなっている。			
	人間力	15	学校は、児童生徒や地域の実態に応じて、道徳教育を積極的に推進している。	3.32	3.20	前年比・0.36 学校教育全体を通じ、常に生徒たちの心をはぐくむことに努めているが、まだまだ改善するところが多い。 小中で研修会を行い、意識の改善が図れている。 夏休みの研修は役に立ったが、その他は消極的だった。			
	を高め	16	学校は、道徳授業の工夫改善に努めている。	3.16	3.00	前年比・0.16 掲示資料等の整備を進めると、授業に取り組みやすくなるのではと考えます。 工夫改善の意識を向上させたいです。 研究授業のときは、意識を高めたが、それ以外はなかった。			
	礼儀正し	17	学校は、自ら手本となり、児童生徒に対し規範意 識を高める指導を行っている。	3.40	3.60	前年比+0.12 倫理確立委員会で服務規律の確保に努め、また、職員会議で南中生徒指導の手引き(職員必携)の読み合わせを行い教職員 規範意識を向上を図っている。生徒に対して南中村1エパーションを実施し、規範意識を高める指導を行っている。行事や諸活動を通して、教職 が率先垂節することによって自らが手本となり指導・支援を行っている。しかし、日常では職員が進んであいさつをする、進んで落ちているゴミ 拾うなどには課題が残る。			
	い児童生徒	18	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつができるように指導している。		3.60	前年比り、16 朝校門に立ちあいさつをしてはいるが7割/らいの生徒はあいさつをしてくれます。教員からあいさつをすればする生徒は増えてましか、自らする生徒はまだまだのように思います。 ・朝の立弊をはじめ、下校指導とあいさつを職員が率先して行っている。 今、まざこ取組中。 あいさつはできるようになったが、声が小さかったり、進んであいさつをできるところまでは達成できていない。			
	の育成	19	学校は、児童生徒が「です、ます」をつける等、場 に応じた言葉遣いができるよう指導している。	3.24	3.40	前年比+0.24 生徒の言葉遣いには、日頃気になるところではあるが、生徒との距離感やけじめをつけるためにももう少しの努力が必要である。 ・不適切な言葉での会話があれば、その都度指導をしている。 流してしまっていることもあり、日頃からの指導が必要だと思います。			
指導・	生:	20	学校は、児童生徒の不登校・非行問題行動に対 し、共通理解を図り組織的に対応している。	3.28	3.40	昨年比土000 生徒指導部会や教育相談部会で組織的に対応しているが、困難な生徒や家庭状況では、改善が難しいのが現状である。 学年の中では協力して取り組むことができたが、他学年との連携ができていないところがあった。約束、確認したことが守れないことが多い。 徒の不登校・非行問題行動に対して組織的な対応を行っている。全職員が一枚岩となって積極的な生徒指導が推進できるように取り組んで きたい。			
管理の	徒	21	学校は、保護者(必要に応じ関係機関)と連携を図り、児童生徒の指導にあたっている。	3.56	3.60	昨年比±0.00 管理職が積極的に学年の生徒指導に対し、助言、支援を行っており、全てに万全に対応はできないが、必要な対応ができて る。 教育委員会、適応指導教室、第2教育相談室や警察等の関係諸機関と連携を図りながら、生徒の不登校・非行問題行動に対応してきた。 後も保護者や関係諸機関とのネットワークを大切にしていきたい。			
状況	ľ	22	ことは、の互いのようで労力を認め合う指导をし	3.60	3.40	昨年比+0.12 「心と体の安全点検」、面談、生徒会のいじかへの取り組みなどにより、問題行動の早期発見に努め対応している。人間関係 トラブルはゼロにはなっていない。人権教育の推進、道徳教育の一層の充実を図っている。誰かを弱い立場にすることで自分の安心感を得てる生徒に対し、自己肯定感を育てたい。			
,,,	安心	23	学校は、事故やトラブルに対するマニュアルを作成・掲示し、迅速に対応できる体制を整えている。	3.52	4.00	前年比・0.08 安全指導部を中心として、計画的に行われ、事故やトラブルに対するマニュアルを作成し、掲示することができている。生徒指 部を中心に安全担当と連携を図り、組織的に迅速に対応できる体制づくりを進めている。			
	・安全	24	学校は、定期的に安全点検を実施し、計画的に安全指導を行う等、日頃から安全な教育環境づくりに取り組んでいる。	3.72	3.80	前年比+0.32 安全担当を中心に全教員で協力的におこなわれ、「心とからだの安全点検」によるいじめなどの早期発見、対処・対応をしている。日頃から校内巡視による安心・安全な教育環境づくりに取り組んでいる。学校内の安全指導はもちろんのこと、学校外、小学校へ出向いの合同避難訓練、安全指導、地域への安全指導など守備範囲広く活動ができた。			
	環境	25	学校は 清掃活動や掲示教育に力を入れる等 組	3.32	3.40	前年比+0.20 バネル写真による掲示は効果的である。緑化やフランターの草花もいるどりもとても良い。各教室内での緑化が進めばさらに い。廊下や階段などの掲示物を工夫し、充実させることができているが、少々清掃指導には改善余地があるように思います。また、清掃がな 日が続くことがたびたびあり、内容の理解が共有されていない。			
	整備	26	実を図っている。	3.16	3.20	前年比+0.04 学校の施設設備の老朽化や清掃効果が十分に得られない廊下の素材等の改善は必要に思われる。 クラビカの活動はすばらしいと思います。 学年費で用意をしなければ足りないものが多くある。			
家庭地域	家庭・☆	27	学校は、学校だよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報を発信している。	3.68	3.80	前年比+0.04 保護者の学校理解がとても重要だと考え、ホームページの更新がこまめに行われている。また、学年だよりについては各学年 実しているがホームページにおける学年の部分など定期的に発信できていない状況である。学校の広報活動を、ありのままの様子を伝える。 とでその効果を上げていると思う。部活動での活動を随時、発信することができなかった。			
との連集	地域との	28	学校は、保護者や地域と連携し、親の学習や学校 応援団の活用を図っている。	3.52	4.00	前年比十0.12 地域青少年育成会との連携や学校配信メールを通して、生徒・保護者に迅速に情報を伝えることができている。 家庭科では地域の方々と一緒に授業を実施しており、授業や図書館に関して保護者や地域のボランティアによる連携が一歩進んだ。緑化活なども保護者、地域の方がお手伝いをしてくれている。応援団との連携を深めていきたい。			
	連携	29	学校は、PTA活動や地域活動に積極的に協力している。	3.80	3.80	前年比+0.24 ・資源回収やみなコンなど地域の取組に積極的に参加している。「みなコン」は継続しておこなうべき地域の行事になったように える。			